

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	横浜ゴム株式会社					
代表者名	氏名	山石 昌孝	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	神奈川県平塚市追分2番1号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	19 ゴム製品製造業				
主たる事業の概要	タイヤ製造、工業資材部品製造、ホース配管部品製造、接着剤製造、航空部品製造 ゴルフ用品製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,968	1,908	1,659	1,961	1,876
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,635	3,525	3,074	3,614	3,459
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	14		8	5	6
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	31				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

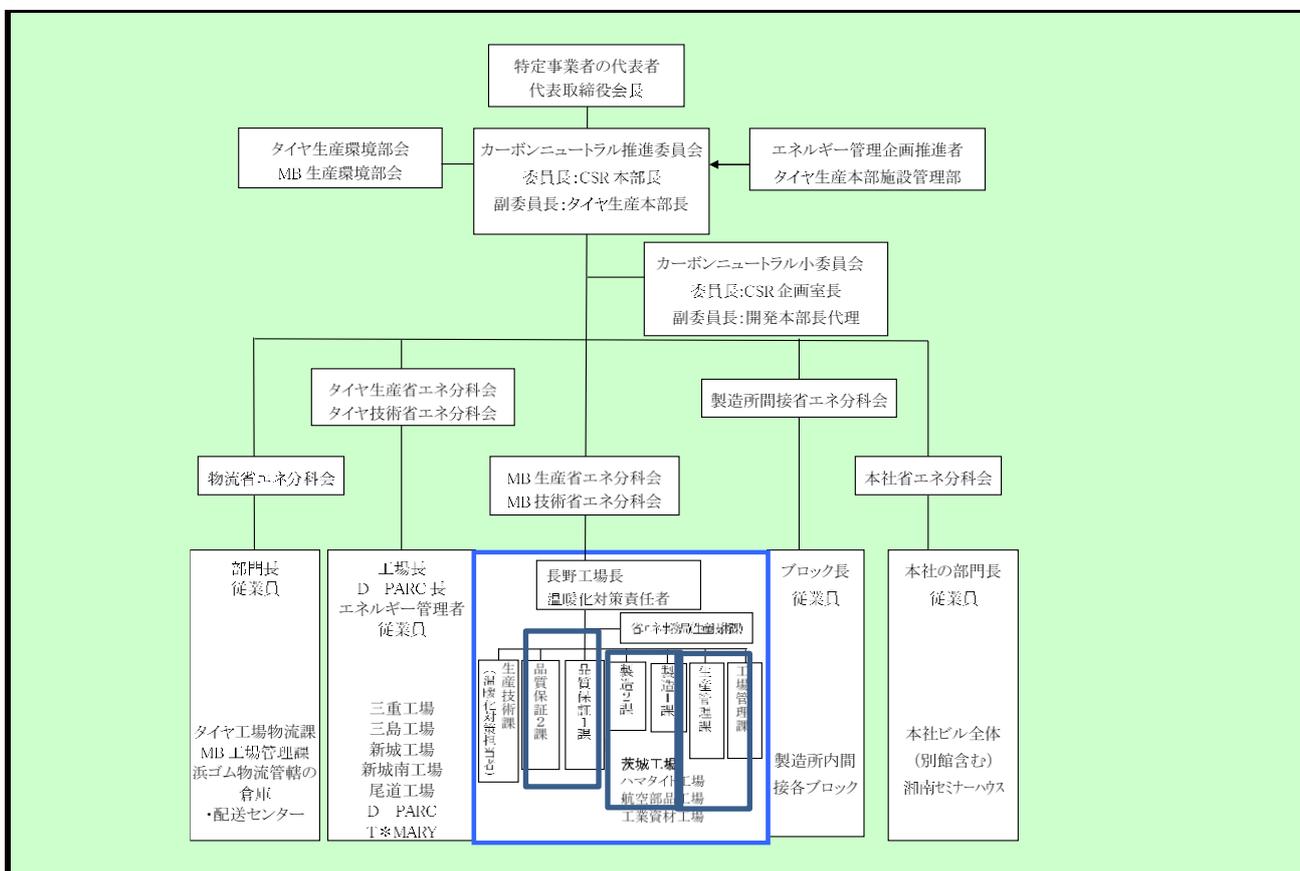
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.y-yokohama.com/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

経営方針に示された「社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする」を規範として、地球環境のために、「未来への思いやり」を体現する、トップレベルの環境貢献企業になります。

- ・全ての活動分野でグローバルに取組みグループ全体で環境経営を持続的に改善します
- ・カーボンニュートラル実現に向け地球温暖化防止に取り組みます
- ・持続可能な循環型社会実現に向けて、省資源化と再資源化を推進します
- ・生物多様性の保全と天然資源の持続可能な利用に取り組みます

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

横浜ゴム(株)地球温暖化対策委員会 年4回開催
 MB生産環境部会 毎月1回開催 (MB部門の工場長出席)
 MB生産省エネ分科会 年4回開催 (MB部門の工場エネルギー担当出席)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,635	t-CO ₂	換算製品庫入れ 個数	67.73	単位	百万個
2019年度	調整後排出量	3,635	t-CO ₂	基準原単位	53.67	t-CO ₂ /	百万個
目標年度	目標排出量	3,525	t-CO ₂	目標原単位	52.06	t-CO ₂ /	百万個
2022年度	目標削減率	3.02	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法に準じた目標設定とした。 環境マネジメントシステムの着実な運用及び実行により目標達成に取り組む。						
第一年度	排出量	3,074	t-CO ₂	換算製品庫入れ 個数	56.62	単位	百万個
	削減率	15.43	%	原単位	54.29	t-CO ₂ /	百万個
2020年度	調整後排出量	3,074	t-CO ₂	原単位削減率	-1.16	%	
	削減率	15.43	%				
排出量等の増減理由	○コンプレッサー台数制御装置導入 ○工場内の蛍光灯照明をLED化 110W蛍光灯25本 ○設備の油圧ユニットをインバーター化 ○設備のエア漏れ改修 等の改善を行ってきたが、生産量が前年度と比較して△17%となり原単位削減率の改善ができなかった。						
第二年度	排出量	3,614	t-CO ₂	換算製品庫入れ 個数	66.49	単位	百万個
	削減率	0.57	%	原単位	54.35	t-CO ₂ /	百万個
2021年度	調整後排出量	3,614	t-CO ₂	原単位削減率	-1.27	%	
	削減率	0.57	%				
排出量等の増減理由	○設備の油圧ユニットインバーター化 ○設備のエア漏れ改修 ○工場内設備照明LED化 等の改善を行ってきたが、コロナによる換気を行うことにより、空調負荷が10%増加、CO2排出量改善の目標を達成する事ができなかった。						
第三年度	排出量	3,459	t-CO ₂	換算製品庫入れ 個数	64.33	単位	百万個
	削減率	4.84	t-CO ₂	原単位	53.77	t-CO ₂ /	百万個
2022年度	調整後排出量	3,459	t-CO ₂	原単位削減率	-0.19	%	
	削減率	4.84	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	○設備の油圧ユニットインバーター化 ○設備のエア漏れ改修 ○設備の非使用時エア供給遮断弁の設置 ○設備照明のLED化 などを行ってきたが、コロナ対策による換気による空調負荷の増加により原単位削減率 年1%を達成する事ができなかった。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	31	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360799	多軸バーフィーダー油圧ユニットインバーター化	2020～2021	26.4	2020～2021	13.5
2	エネ起	360799	ミストコレクターインバーター化	2020～2021	3.2	2021	0.5
3	エネ起	360703	エア配管の区画化	2021	32		
4	エネ起	380752	第2工場 照明LED化	2020～2021	26.4	2020～2021	9.9
5	エネ起	380752	倉庫棟照明 LED化			2021	0.8
6	エネ起	380752	設備照明 LED化			2021	0.9
7	エネ起	360799	高圧コンプレッサーインバーター化	2022	23.1	2022	13.6
8	エネ起	360705	エア漏れ箇所の修繕			2020～2022	31.4
9	エネ起	360703	非稼働時の設備毎のエア遮断			2022	0.8
10	エネ起	360799	耐圧試験機ポンプ間欠運転 (電気モーター→エアポンプ)			2022	6.7

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,513	1	2,930	1	3,462	1	3,320
1,500k1未満	1	122	1	144	1	152	1	139
合計	2	3,635	2	3,074	2	3,614	2	3,459

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	2
合計	1	1	1	2
自動車総数	14	8	5	6
次世代車導入割合	7.1	12.5	20	33.3

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	休日の外出は公共交通機関の利用啓発実施
自転車の利用促進	休日の外出時は、自転車利用を啓発
来客者の交通対策	アイドリングストップの啓蒙
物流の合理化	ミルクラン方式導入で△24%削減の継続中

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2004
	名称	ISO14001 2015	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	信州省エネパートナー 夏、冬の省エネ大作戦		2019

1.5 自由記載欄

○工場長を議長とする環境会議を1回/月開催。環境項目のフォロー、未達項目の原因追究及び対策を討議。
6月の環境月間、2月の省エネ月間には従業員からの提案を募集し毎回多くの提案がされる。
また昼休みには構内放送で省エネ環境に関する啓蒙を実施。